

# 福玉便り

ふ く た ま だ よ り

通巻 118 号

発行：『福玉便り』編集委員会 NPO 法人埼玉広域避難者支援センター・（一社）埼玉県労働者福祉協議会

協力：生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先：NPO 法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-2 1 ときわ会館 1F TEL0120-60-7722

## 2026 年を迎えるにあたって

2011年3月11日から15回目の春を迎える年となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

福島第1原発事故から来年で15年となるうとする現在、どうしても心が落ち着きません。その理由ははっきりしています。新潟県の花角英世知事が、11月21日の記者会見で東京電力柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）の再稼働容認を表明したためです。これは新潟県議会の信任を条件としています。多くの人が信任を得られる可能性は高いとみており、近いうちに再稼働される見通しです。本文は、県議会が始まる前に書いており、現時点ではどのような結果となるかは不明ですが、再稼働が実現すれば、福島第1原発事故以来東京電力では初めてとなります。

原発事故により、ピーク時には16万人以上の住民が避難をしいられ、今でも2万人以上の人が県内外に避難しています。デブリが炉内に存在する限り、建屋の解体はおろか、原発処理水の放出も終わりません。福島の人々が望む「廃炉の最終形」は、残念ながらまだ見えていません。こうした現状でありながら、東京電力に原発を再稼働する資格があるのでしようか。

新潟県は11月、原発30キロ圏内の9市町村の住民を対象とした県民意識調査の最終的な結果を公表しました。

「再稼働の条件は現状で整っている」との設問に対し、どちらかと言えば含め「そうは思わない」と回答したのが61%で多数を占めました。事故時の避難道路や除雪設備など整備の必要性を訴える声が8割を占め、再稼働は早計という住民の思いの一端が浮き彫りになりました。避難もできない、救援にも入れない、どちらも困難になる状況が生まれうるというのが能登半島地震の教訓です。自然災害と原子力災害との複合災害に対して、避難計画の実効性は確認されていません。地元の犠牲が想定内と思えるような政策のどこに正当性があるのか、と思わずにはおられません。

新潟県の市町村は、原発事故で避難された方々の受け入れを積極的に行ってこられました。ある日いきなり着の身着のままバスに乗せられて全く知らない土地に連れていかれて、被爆検査の為に公民館に詰められて、怒っているような不安な表情で過ごしていた避難者の方々の姿が多くの方々の記憶に残っています。原発事故における避難や被害は想像を超えたものだという衝撃を、埼玉県にいた私たちも同じように抱きました。

花角知事が原発再稼働容認の判断について県議会に諮ること、信を問う考えを表明したことに対して、信を問う相手は新潟県民だという声が大きくなっています。県民の生命や健康・財産に関わる再稼働問題において「判断に責任を持てるのは県民」という訴えも理解できますが、一方で今の状況は新潟県民に責任をなすりつけるようにも感じます。不安や不信を抱えたまま再稼働が進むリスクは原発の周辺地域が負い、つくられた電気は主に首都圏へ送られるという構造は変わっておらず、私たち首都圏の住民は再稼働問題にとって当事者であるのです。

先月、都内で開催された交流会において、シンガーソングライター普天間かおりさんのミニコンサートが実施されました。仮設住宅の居住者から寄せられた故郷の思い出をもとに、彼女が作詞した『桜舞う町で』が披露された際、同席した参加者の多くが感極まり、涙ぐむ姿が見受けられました。15年間近く抱えてきた悔しさを、これ以上無視されるのは耐えられない。その思いが溢れて、私も涙を流してしまいました。

福玉便り編集部は、皆さんの痛みや喪失に寄り添うことを微力ながら続けていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

（編集部・薄井）

## 新潟県知事、再稼働を容認

花角英世新潟県知事は11月21日、東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）の再稼働容認を表明しました。それに対して25日、約1200人の市民らが新潟県内外から集まり、集会を開催後、約1キロの輪をつくって県庁と県議会の庁舎を取り囲みました。

また。参加者は「知事は公約を守れ」「県民に信を問え」「県議会だけで決めるな」「再稼働の是非は私たち県民が決めた」と、県庁に向かって声を上げていました。新潟県民への市民団体のアンケート調査では、6割が再稼働に反対しているそうです。

事故を起こしたあの「東京電力の原発」が、動くことになりました。新潟にも避難した人がたくさんいます。全国にいる、原発事故被害者の方々のご経験とその思いを考えると、今回の再稼働については、ありえないことと個人的には感じています。（吉田）



吾妻連峰と小屋です。雪降る寒い12月にこの絵を描きました。場所は福島市平石地区から吾妻連峰をのぞめる農家で描きました。冬の吾妻連峰はとても雪が多く厳しい景色となります。でもその厳しさは、やがて来る春の準備をしているように思うのです。私は、その時、そんな優しさのある厳しい冬の吾妻連峰に感動してペンを走らせました。このような絵ですが、是非皆様の癒しになればとても幸いです。

オオハシワタル



## 第24回 With You さいたま フェスティバル 2026年2月7日(土)～8日(日)

福玉支援センターも出展・参加します

- さいがい・つながりカフェ 2月8日午前 今年も合唱します。皆さんで歌いましょう。
- 福玉支援センター  
2月7日 災害対策基本法の一部改正から災害支援の現状を学びましょう。  
その他にも、県内の様々な団体が活動発表をします。ぜひお越しください。参加無料です。  
問い合わせは薄井まで (080-5532-7380)

眠れない日が続いているとき 気にかかることがあるとき 困っていることがあるとき  
理由ははっきりしないけれど、誰かに話を聞いてもらいたいとき  
いつでも気軽に電話ください。



**福玉相談センター 電話：0120-60-7722（フリーダイヤル）**

火曜日・水曜日・木曜日（9：30～16：30）

電話で相談しづらい方はメールでもどうぞ。メール：fukushima\_soudan@yahoo.co.jp



## 福玉講演会・交流会を開催しました

### 福玉相談センター

二〇二五年最後の連休の一日である十一月二二日に、福玉相談センター主催の福玉講演会・交流会を開催しました。今回は福島県郡山市から、日本司法書士会連合会理事で司法書士の高橋文郎先生をお招きし、「相続・成年後見・これからの不安解消のために」お悩み解決と備え」という題目でご講演いただきました。

高橋先生は、ふくしま連携復興センターのアドバイザーであり、現在も相双地区で成年後見人などを務めておられます。

所有者不明土地の問題（再開発・公共事業への支障、固定資産税の徴収ができない等）への対策として、令和六年四月から相続登記の申請

が義務化されました。三年以内に申請しない場合、行政上の罰則である料金が科されます。そのため、近年は相続登記に関する相談が大幅増えているとのことでした。

講演では、相続に関する基礎的な用語の説明を交えながら、具体的な悩みとその対策についてわかりやすくお話しいただきました。家屋以外の不動産（山林、田畑、共有地など）を見落としてしまう可能性があるため、市役所などの資産税課で名寄帳を確認すると、所有している財産が正確に把握できるそうです。また、相続には法定相続と遺産分割がありますが、遺産分割について話し合いができない、あるいは意見がまとまらないという悩みが多いとのことでした。遺産分割協議書作成のための協議が進まない場合には、家庭裁判所で調停や審判を行うことができます。高橋先生が「家庭裁判所は身近な存在です」と繰り返し強調されてきたことが印象的でした。

なお、亡くなった方に借金がある場合、相続人は督促状などでその存在を知ることが多いそうですが、借金があることを知ってから三ヶ月以内であれば、家庭裁判所で相続放棄をすることも可能とのことでした。

遺言については、自分で書く「自筆証書遺言」と、公証役場で公証人が作成する「公正証書遺言」があり、後者のほうがより確実とされています。自筆証書遺言書がどこに保管されているのか分からなくなる事態を避けるため、法務局で自筆証書遺言書を保管してもらう制度（自筆証書遺言書保管制度）が、令和二年から始まっていることも紹介されました。

さらに、成年後見制度についてのお話も伺いました。成年後見人は本人の代理権を持ち、介護施設や病院の入退所・入院手続き、遺産分割協議への関与などを行うことができます。また、本人の判断能力

の程度に応じて、ある程度本人の意思が反映される保佐人・補助人の制度もあります。専門職に成年後見人等を依頼すると月二〜三万円程度の報酬が必要になる場合がありますが、自治体によっては補助制度が設けられていることもあるそうです。

最後に、「墓じまい」についてもお話伺いました。撤去費用や永代供養料は、それぞれのお寺の事情によって大きく異なるとのことでした。公共の墓地の場合は、墓石の撤去費用はかかるものの、改葬許可を得て遺骨を合葬墓に納めることができる場合もあるそうです。

講演の中では質問も多く寄せられました。特に山林の相続に関する質問が目立ち、相続せずに国に寄附する「相続土地国庫帰属」制度についても説明がありました。ただし、境界線が明確であることが条件の一つとなっており、この点が現場での大きな課題になりそうだというお話でした。引き続き行われた交流会では、



参加者それぞれの個別事情を踏まえたお話が交わされました。相続・遺言、成年後見、「墓じまい」といったテーマが、避難者の方々にとって非常に身近で切実な課題となっていることを改めて実感しました。また、これらをめぐる制度は次々と新しくなっており、常に情報をアップデートしておく必要性も強く感じました。講演会の最後には、高橋先生から「いつでも相談してください」との心強いお言葉もいただきました。ご相談をご希望の方には、福玉相談センターを通じて高橋先生へおつながいたしますので、どうぞお気軽にご連絡いただければ幸いです。

追伸：今回の講演会・交流会のご案内記事（福玉便り第117号）において、福玉相談センターの電話番号に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

（福玉相談センター・西城戸）

3

## 各地の 交流会など

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりました。各交流会の感染対策については連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、引き続き体温測定の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

|   |       |                      |   |
|---|-------|----------------------|---|
| ① | 加須市   | 双葉町民によるボランティア<br>カフェ | 090-5356-8778 (鶴沼さん)  |
| ⑥ | 加須市   | オバトン                 | 090-6526-8560 (藤井さん)  |
| ⑧ | 上尾市   | 東日本大震災に咲く会ひまわり       | 080-3091-6215 (橘さん)   |
| ⑩ | 熊谷市   | くまがや結の会              | 090-7661-9236 (林崎さん)  |
| ⑬ | 川口市   | ひまわりの会               | 080-5431-0123 (島田さん)  |
| ⑲ | さいたま市 | さいがい・つながりカフェ         | 080-5532-7380<br>tunagari.saitama@gmail.com   |
| ⑳ | ふじみ野市 | おあがんなんしょ交流会          | 090-5345-8408 (松館さん)  |
| ㉑ | 川越市   | ここカフェ@川越             | 070-5080-4494 (鈴木さん)  |
| ㉒ | さいたま市 | 玉兎の会                 | 090-6128-1948 (小林さん)<br><a href="https://gyokutonokai.wixsite.com/2018">https://gyokutonokai.wixsite.com/2018</a> |

### ⑥オバトン

1月、2月のハーモニカ、手話歌は都合によりありませんが、食事、交流会、塗り絵教室はいつも通り行います。風邪などにお気をつけて年末年始お過ごしください。皆さんの参加お待ちしております。

1/22(木)、2/10(火)、2/26(木)

10:00 ~ 14:00 キャッスルきさい  
090-6526-8560 (藤井さん)

### ㉒おあがんなんしょ交流会

今号の到着前後になるかと思いますが、12/14(火)に恒例の「オレゴン樅のクリスマスアレンジ作り」をします。場所はふじみ野市サービスセンター2階会議室、13:00 ~ です。希望の方は松館までお声かけ下さい。

090-5345-8408 (松館さん)

### ㉒玉兎の会

予約は要りません!お気軽にご参加ください。  
1/17(土)、2月は未定 10:30 ~ 12:00  
With You さいたま4F 和室 048-854-8703  
(小林さん)  
<https://gyokutonokai.wixsite.com/2018>

### ㉑ここカフェ@川越

皆様のご予定を調整しながら 毎月交流会を行っています。場  
所は JUN ホール、10 時~です。  
pororon311@gmail.com、070-  
5080-4494 (鈴木さん)

### ⑲さいがい・つながりカフェ

1/8(木)、1/22(木)、2/12(木)、  
2/26(木)  
11:00 ~ 15:00 WithYou さいたま  
080-5532-7380、tunagari.saitama@  
gmail.com

東京電力 福島第一原子力発電所事故 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

## 原子力損害賠償に関する個別相談会・請求書作成支援

開催日 令和8年1月17日(土) 10:00 ~ 16:00 [休憩 12:00 ~ 13:00]

会場 『東京国際フォーラム』 ガラス棟 5 階 G504 会議室

住所: 東京都千代田区丸の内 3-5-1・JR『有楽町駅』より徒歩 1 分

・JR『東京駅』八重洲南口より徒歩 5 分・東京メトロ『有楽町駅』より徒歩 1 分、『二重橋前駅』『日比谷駅』より徒歩 5 分 ※ 有料駐車場はございますが、公共交通機関をご利用ください。

### ● 弁護士による個別相談 (予約優先※)

- ☐ 原発賠償に詳しい弁護士が原子力損害賠償全般のご相談に対応いたします。
- ☐ 賠償請求でお困りの方は、ぜひご相談ください。

### ● 行政書士による請求書作成支援 (予約優先※)

- ☐ 第五次追補等に関わる請求書の作成をお手伝いいたします。
- ☐ 請求書の記入はご自身でお願いします。  
※ 1 組 1 時間。当日、相談枠に空きがあれば予約なしでもご相談・作成支援ができますので、15 時までに直接会場へお越しください。

### ● 専門家へご相談ください。

- ・請求漏れがないか相談したい
- ・住居確保にかかる費用の賠償請求について相談したい
- ・ADRの申立てについて相談したい など

### ● 連絡先

- ☐ 事前予約  
予約ダイヤル 0120-330-540  
【受付時間】 9:30 ~ 17:00 月~金 (祝休日、12/27 ~ 1/4 を除く)
- ☐ ご来場が難しい場合は、電話相談をぜひご利用ください!  
電話相談ダイヤル 0120-013-814  
【対応時間】 10:00 ~ 13:00、14:00 ~ 17:00 月~金 (祝休日、12/27 ~ 1/4 を除く)
- ・行政書士による電話での情報提供  
・弁護士による電話相談:【事前予約制】 祝日を除く毎週火・木 10:00 ~ 13:00
- ・オンラインでのご相談も可能